

港湾内における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

海側遮水壁

シルトフェンス

『最高値』→『直近(5/24-5/28採取)』の順、単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

出典: 東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果 <http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

セシウム-134 : 3.3 (H25/10/17) → ND(0.26) 1/10以下
 セシウム-137 : 9.0 (H25/10/17) → ND(0.32) 1/20以下
 全ベータ : **74** (H25/ 8/19) → ND(16) 1/4以下
 トリチウム : 67 (H25/ 8/19) → ND(1.8) 1/30以下

セシウム-134 : ND(0.59)
 セシウム-137 : 1.3
 全ベータ : ND(16)
 トリチウム : 2.3 ※

セシウム-134 : 3.3 (H25/12/24) → ND(0.41) 1/8以下
 セシウム-137 : 7.3 (H25/10/11) → 0.68 1/10以下
 全ベータ : **69** (H25/ 8/19) → ND(16) 1/4以下
 トリチウム : 68 (H25/ 8/19) → ND(1.4) 1/40以下

セシウム-134 : 4.4 (H25/12/24) → ND(0.22) 1/20以下
 セシウム-137 : **10** (H25/12/24) → 0.48 1/20以下
 全ベータ : **60** (H25/ 7/ 4) → ND(16) 1/3以下
 トリチウム : 59 (H25/ 8/19) → ND(1.8) 1/30以下

セシウム-134 : 3.5 (H25/10/17) → ND(0.26) 1/10以下
 セシウム-137 : 7.8 (H25/10/17) → 0.39 1/20以下
 全ベータ : **79** (H25/ 8/19) → ND(16) 1/4以下
 トリチウム : 60 (H25/ 8/19) → ND(1.8) 1/30以下

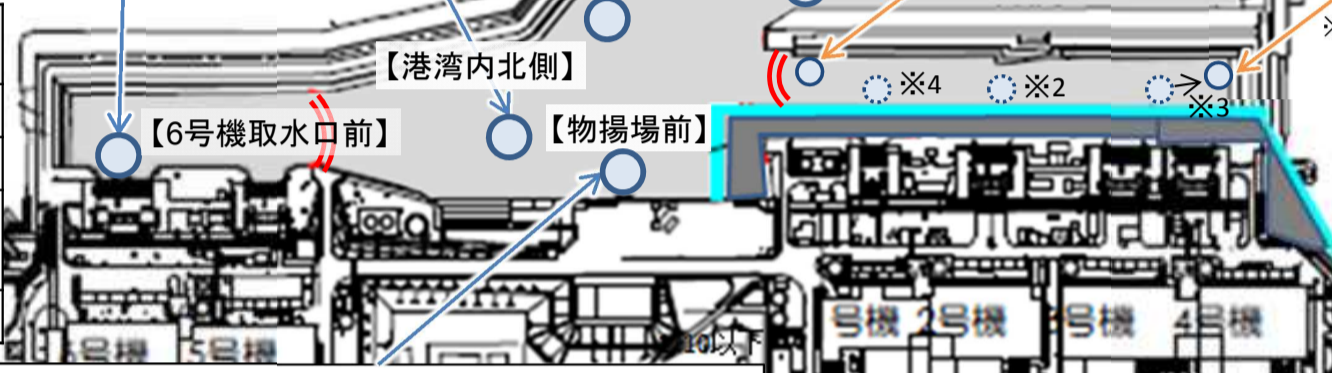
セシウム-134 : 5.0 (H25/12/2) → ND(0.25) 1/20以下
 セシウム-137 : 8.4 (H25/12/2) → 0.43 1/10以下
 全ベータ : **69** (H25/8/19) → ND(16) 1/4以下
 トリチウム : 52 (H25/8/19) → ND(1.8) 1/20以下

セシウム-134 : **32** (H25/10/11) → ND(0.53) 1/60以下
 セシウム-137 : **73** (H25/10/11) → 1.8 1/40以下
 全ベータ : **320** (H25/ 8/12) → 18 1/10以下
 トリチウム : 510 (H25/ 9/ 2) → ND(2.1) 1/200以下
 シルトフェンスの位置変更により、H29.2.11から試料採取地点を南に50m移動

セシウム-134 : 2.8 (H25/12/2) → ND(0.38) 1/7以下
 セシウム-137 : 5.8 (H25/12/2) → ND(0.49) 1/10以下
 全ベータ : **46** (H25/8/19) → ND(16) 1/2以下
 トリチウム : 24 (H25/8/19) → ND(2.2) 1/10以下

セシウム-134 : 0.49
 セシウム-137 : 3.0
 全ベータ : ND(16)
 トリチウム : 21 ※1

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万



セシウム-134 : 5.3 (H25/8/ 5) → ND(0.56) 1/9以下
 セシウム-137 : 8.6 (H25/8/ 5) → 0.97 1/8以下
 全ベータ : **40** (H25/7/ 3) → ND(16) 1/2以下
 トリチウム : 340 (H25/6/26) → ND(1.4) 1/200以下

※1のモニタリングはH26年3月以降開始
 海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了
 ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了
 ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動
 ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

H31年5月29日までの東電データまとめ

港湾外近傍における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

(直近値 5/24 - 5/28採取)

単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満の場合はNDと表記し、()内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.69)
 セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.76)
 全ベータ : ND (H25) → ND(17)
 トリチウム : ND (H25) → ND(0.85)

【港湾口東側(沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.72)
 セシウム-137 : 1.6 (H25/10/18) → ND(0.59) 1/2以下
 全ベータ : ND (H25) → ND(17)
 トリチウム : 6.4 (H25/10/18) → ND(0.85) 1/7以下

【港湾口南東側 (沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.44)
 セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.58)
 全ベータ : ND (H25) → ND(17)
 トリチウム : ND (H25) → ND(0.85)

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.86)
 セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.63)
 全ベータ : ND (H25) → ND(17)
 トリチウム : 4.7 (H25/8/18) → ND(0.85) 1/5以下

【南防波堤南側 (沖合0.5km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.72)
 セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.82)
 全ベータ : ND (H25) → ND(17)
 トリチウム : ND (H25) → ND(0.86)

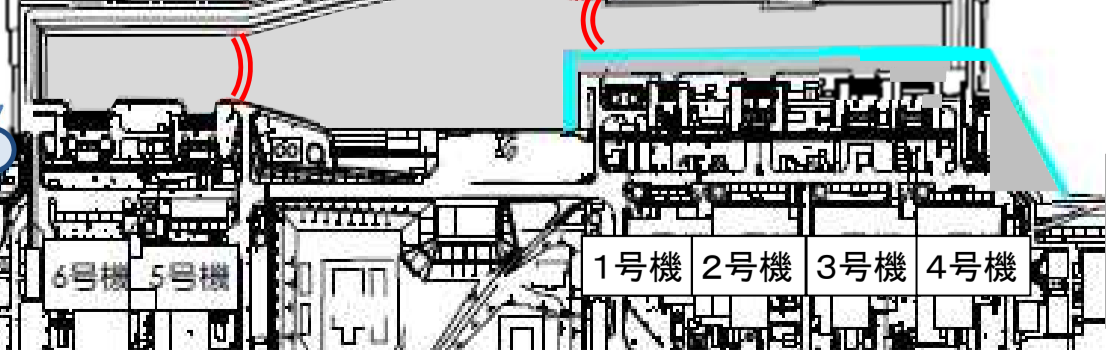
【北防波堤北側(沖合0.5km)】

【5,6号機放水口北側】
 セシウム-134 : 1.8 (H25/ 6/21) → ND(0.71) 1/2以下
 セシウム-137 : 4.5 (H25/ 3/17) → ND(0.50) 1/9以下
 全ベータ : 12 (H25/12/23) → 12
 トリチウム : 8.6 (H25/ 6/26) → ND(0.90) 1/9以下

セシウム-134 : 3.3 (H25/12/24) → ND(0.41) 1/8以下
 セシウム-137 : 7.3 (H25/10/11) → 0.68 1/10以下
 全ベータ : **69** (H25/ 8/19) → ND(16) 1/4以下
 トリチウム : 68 (H25/ 8/19) → ND(1.4) 1/40以下

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.91)
 セシウム-137 : 3.0 (H25/ 7/15) → ND(0.72) 1/4以下
 全ベータ : 15 (H25/12/23) → 11
 トリチウム : 1.9 (H25/11/25) → ND(0.90) 1/2以下

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる



【南放水口付近】

注: H28年台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側約330mの地点で採取。さらに、H29.1.27から同放水口から南側約280m地点で、H30.3.23からは約320m地点で採取。

H31年5月29日までの東電データまとめ

出典: 東京電力ホームページ 福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果 <http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>